

## 幼稚園・保育所花壇の部

### 総 評

各保育所(園)では、35℃を超える日が連日続き、「熱中症警戒アラート」が発せられる中で花への灌水等の栽培管理に大変苦労されたことと思います。

どの保育所(園)も子供たちのためにはもちろん、園児の送迎の人々、公道に面した所を意識した花壇等、地域交流のある花壇づくりになっていました。その中で印象に残ったことを紹介します。

- ・ペットボトルや牛乳パック、球根運搬用のプラスチック製コンテナ等を再利用して花を育てる(新庄保育所、老田保育所、金山保育所)
- ・花壇やプランターで野菜を育てる(新庄保育園、西田地方保育所、小杉西部こども園)
- ・プラグ苗をポットに植え替え、園内のほとんどの花苗を育て、大きく育った花苗を地域の人々に配布した(速川保育園)
- ・タネだんごの作り方を地域の方に教わり一人一人のプランターに植えた(金山保育園)
- ・送迎の祖父母と一緒に苗を選び寄せ植えを行った(速川保育園)

日常の遊びの中で、多くの子どもたちが花や植物に親しみを持ち、ふれ合うことで、自然の大切さを感じるきっかけにもなり、一人一人が多くのことを学んでいるのだと感じました。

### 最優秀賞評

最優秀賞を受賞した富山市の『新庄保育所』は、富山地方鉄道東新庄駅近くにあり、地鉄電車をモチーフにプランターカバーを製作されていました。また、花々の中に動物の乗客や、ペットボトルを利用したハンギングを壁面に飾り公道を通る人々を楽しませていました。カレーライス畑と称し、人参、ジャガイモ、タマネギを育て、収穫の翌日の給食でカレーライスをみんなでおいしくいただいたとのことでした。バケツと畑で米作りに挑戦したり、ジャガイモやサトイモを袋栽培にして芋の付き方を観察したり、子供たちが毎日楽しみに登園したくなるような工夫にはすばらしいものがありました。

子供たちが自由に植物と触れ合い、アイデアを出し合い、夢いっぱい空間が広がる花壇作りがなされていました。

(審査委員長 舘 睦美)